

■ ～麻疹(はしか)ワクチンを接種していますか？～

麻疹(はしか)ワクチンを接種していますか？

東京都や神奈川県では4月に入ってから麻疹(はしか)の流行がみられています。麻疹はワクチンを接種することにより、防ぐことができる病気です。



外国では麻疹・風疹・水痘・おたふくかぜのワクチンは2回接種が基本ですが、我が国では、麻疹において2006年より第一期(1歳児)および第二期(5～7歳未満で小学校就学前の1年間)の2回接種が始まりました。またこれまで定期接種の対象ではなかった中学1年生と高校3年生も、2008年4月から5年間だけですが新たに定期予防接種対象者となりました。市区町村から送付されてくる通知を忘れずに、医療機関でワクチンを接種して麻疹から身を守りましょう。



現在10～20代の若い人達では、これまで麻疹に罹ったことがない方やワクチン接種をしたことがない方がいます。あるいは小さい時に1回だけ接種しただけで、その後免疫が落ちている方もいます。この場合麻疹に対する免疫が低いので感染すると重症化しやすい傾向にあります。今回東京都での麻疹患者も、20歳以上が全体の約半数となっており、麻疹がいわゆる“子供の病気”ではないことがわかります。このような方は積極的にワクチンを受けられることをお勧めします。



麻疹ワクチンは2回接種することで、かなり確実に免疫が持続します。1回の接種で免疫がつかなかった人や、1回の接種で免疫がついたにもかかわらず時間の経過とともにその免疫が落ちてきた人などに、再び刺激を与えて免疫を強固なものにすることができます。これまで麻疹に罹ったことのない方は、ワクチンを2回接種しているかどうかを確認しておきましょう。



麻疹ワクチンは、通常、麻疹・風疹混合ワクチン(MRワクチン)として接種されることが多いようですが、たとえ過去に風疹に感染したことがあったとしても、この混合ワクチンを受けることは問題ないといわれています。ただ注意することは、風疹のワクチンが含まれているので妊娠中は接種できませんし、接種後2カ月間は避妊が必要です。またワクチンですので健康な時に接種することはもちろんですが、その他免疫の病気などがあるときも医師にご相談ください。

担当: 薬剤部 五十嵐万秩子